

●高千穂交易

光関連の販売開始
数十億円を目標

高千穂交易(株)(東京都新宿区)は、生成AIの急速な普及に伴うデータセンター需要の拡大を背景に、光関連製品の取り扱いを開始

した。オプティカルソリューション事業として展開する方針で、同事業の売上高を中長期的に数十億円規模へと高めることを目指す。

同事業は、光通信関連部材、光接続部品、光モジュール関連製品などを中心に、データセンターや通信イン

フラ、産業機器、センシング分野に向けた提案を推進。また、同社が半導体・電子部品事業で培った顧客基盤や技術サポート力を活かして、光関連製品と半導体・電子部品を組み合わせたトータルソリューション提案を強化する。

さらに、データセンター領域で急速に関心が高まるCPO(Co-Packaged Optics)をはじめとする次世代技術動向も見据え、消費電力削減、高帯域化、高密度実装といった顧客課題の解決に貢献する。顧客の設計初期段階から関与し、用途や仕様に応じた製品選定、技術提案、技術サポートを通じて、より高付加価値なビジネス機会の創出を図る。

今回の戦略を円滑に推進すべく、同社では通信、産業、センシングの3市場を横断的に展開し、市場の成長を多面的に取り込んでいく。また、単品部品販売から、設計提案、システム提案、保守・サービスといった高付加価値領域へのシフトを見据えていく。

